

乗鞍岳山スキー報告

【山城】北アルプス・乗鞍岳

【日程と天気】2018年6月3日（日）晴れ

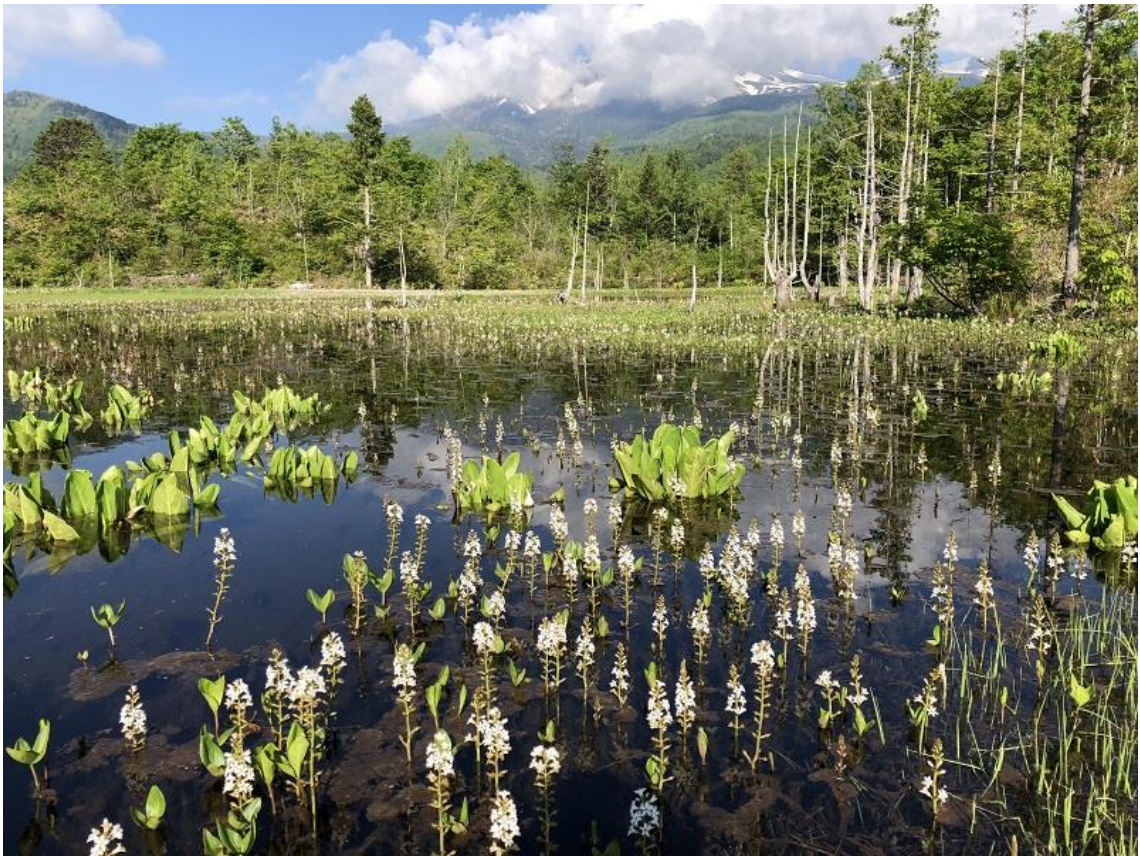
【メンバー】CL 菊池・鶴田・井上（里）・滝本（元会員）

【行程】

菊池家 2:35—乗鞍観光センター駐車場—7:11 一の瀬園地—観光センター駐車場 8:30—バス—位ヶ原山荘—肩の小屋ローシール登行—稜線—朝日岳と蚕玉岳の鞍部にスキー・ザックをデポ—乗鞍岳山頂—デポ地—滑走—道路—肩の小屋ロー滑走—位ヶ原山荘 15:20—バス—観光センター駐車場—せせらぎの湯（無料半露天風呂）—帰葉



- ・ 例年恒例となっている滑り納・乗鞍に 6/3 に行ってきた。観光センター到着が早く、余裕があったため一の瀬園地に行ってみた。観光センター付近でレンゲツツジは見頃、例年より 1 週間ほど早い開花状況とのこと、一の瀬園地ではまだ蕾が多いものの、朝の心地よい冷気の中で、残雪の乗鞍と新緑をバックにレンゲツツジの橙色が映えており、先客のカメラマン・観光客が数組、楽しんでいた。同行したメンバーと歓声を上げ「早起き三文の徳」を実感した。池には水芭蕉はほぼ終わっていたが、ミツガシワが咲いていた。



- ・ 始発バスは 4 台、5/31 から肩の小屋口まで開通、大勢のスキーマー、ボーダー、登山客で賑わっていた。帰りのバスで車掌さんに聞いてみたが、この日は 350 人ほど入山し今期最も多かったとのこと、来週末はもっと多くなる予想とおっしゃっていた。位ヶ原山荘先の道路まで雪はしっかり繋がっており、また蚕玉岳と朝日岳との鞍部からの雪渓が道路まで繋がっていることを車窓から確認でき一安心した。
- ・ 例年の如く、長蛇の列のトイレを済ませ、支度をして出発、始めのうちは縦溝が目立つ。



好天、気持ちよいシール登高にテンションが高ぶり、つい美人2人、イケメンの1人に声を掛けてみると、長野からとのこと、昨年も小生に声を掛けられたとのこと、山スキーML愛読者であった。しばし談笑、先週の針ノ木雪渓の報告を読んでいただきました。徐々に急になる斜面をアイゼンで登る同行者の 79 才 T さん、他の 3 名はクトー装着でのシール登高であった。先方に大勢の方々が見えます。雪渓終了付近のガレ場に雷鳥が戯れていました。



- ・ 今期は稜線直下の雪消えは早い。残雪の多かった昨年の 1 週間後には稜線までシール登高可能であった。エントリーポイントにスキー板とザックをデポし登頂。デポ地

点で休憩していたグループと談笑したが、町田からの労山の方々とでなんと、最高齢者は83才での参加であり、納会とのこと。初登頂の3名、偶然【?】か、予想通りか、観光センター駐車場で立山初滑りでの同行以後、久しぶりにお会いしに同行した宇都宮からのIGさんと記念撮影した。



- ・ エントリーポイントで記念撮影し、さあ滑走です。雪面の状態は良いようであるが、先週の針ノ木峠と同様急斜面を覗き込み皆さん緊張気味です。エントリーポイントからの滑走ラインが見えます。道路まで繋がっています。針ノ木峠直下は縦溝でやや苦勞しましたが、ここは荒れてなく美味しそうな急斜面です。



- ・ 先ず小生が味見の突撃です。初めから封印することなく気持ちよいテレターンが刻めます。最大斜度 35 度は越えるでしょうがジャンプせずとも、気持ちよくターンが描け、スピードコントロールできます。この急斜面、頻回に滑りましたが、今回が最も快適なような気がしました。後続する相棒等も、安定した急斜面を無難にターンしながら、「ザ、山岳スキー」を堪能しています。
記念撮影しなら、今シーズン滑り納の山岳スキーを楽しめました。IGさん、岩峰をバックに恰好よいですよ！！岐阜から馳せ参じた若い(と言っても50台後半)Tさん、昨



年暑すぎたため、今回はこんな若作りの出で立ちで颯爽と3000m超えの北アルプス山岳山スキーを楽しんでいます。ここが今回の核心部です。狭い岩の出ているエリアです。心配していましたが、先週と同じような状況ですね。ここは慎重に横滑りで高度を下げます。一週間くらいは何とか持つでしょうか？



広い緩斜面に移るとやや雪面が荒れていますが、条件の良い左側を思い思いのシュプールを描き滑走できます。大きな落石(岩)が2個にありました。やりました。全員、蚕玉岳と朝日岳の鞍部からの急斜面滑走ができ、満足の休憩タイムです。さすがにエ

ントリーポイントでは控えた泡の出る 350mlの金麦を冷やし、Tさんと乾杯です。

位ヶ原山荘の道路まで標高差 280mの滑走は、やはり快適ではありませんでした。縦溝が強烈です。深い溝は 40cmくらいありそうです。位ヶ原山荘の道路直前の残雪量は予想以上に大丈夫でした。あと1週間ほどは持ちそうでしょうか？

この辺は寡雪の 2016 年 5/21 は既に沢が出ていて苦労しましたが。

大満足の滑り納でした。



【鶴田さんの感想文】

千葉を未明に出発したので乗鞍観光センターには一番バスの時間よりかなり早く到着した。

菊池さんの案内で少し下ったところにある「一の瀬園地」というところを訪れた。残雪の雄大な乗鞍連峰を背景にした高原だ。レンゲツツジが咲き、水芭蕉の池塘があり、彼方の森から郭公の鳴き声が聞こえてくる。まだ柔らかさを残した緑の木々を吹き抜ける風は爽やかで

6月という季節の良さを感じさせる。秋には素晴らしい紅葉が見られというモミジの独立樹

を見てここをあとにする。

バスは緑の樹林帯を抜けて徐々に標高を上げていく。やがて両側に雪の壁が現れる。そのコントラストはすばらしく、乗鞍の自然の豊かさ、深さだろう。

バスを降りてスキーをつけ頂を目指して雪の斜面を登っていく。これからのことはリーダーの菊池さんの記録の通り。

各地から集まったであろう山スキー仲間と思わず言葉を交わす機会も多かったが「ちば山の

菊池さん」の名前を知っている人が多いのにはびっくりした。

人も山も素晴らしい今シーズンの滑り納めだった。

